

月	単元・章・節	時間	指導内容	評価規準・達成目標（生徒の学習目標）			
				数学への関心 ・意欲・態度	数学的な見方や 考え方	数学的な表現 ・処理	数量、図形などに ついての知識・理 解
4 5	1章 式と計算 1節 式と計算 1 単項式と多項式 2 同類項 3 多項式の加法， 減法 4 単項式と単項式との乗法 5 単項式を単項式でわる除法 6 多項式と数との計算 7 式の値	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単項式と多項式の意味 / 式の次数の意味</li> <li>・同類項の意味 / 同類項をまとめること</li> <li>・多項式の加法と減法</li> <li>・単項式と単項式との乗法</li> <li>・単項式を単項式でわる除法</li> <li>・多項式に数をかける計算 / 多項式を数でわる計算</li> <li>・式を簡単にしてから式の値を求めること</li> </ul>	<p>1年で学習した式の計算の適用範囲が広がっていることに興味をもち，意欲的に計算をしようとする。</p> <p>工夫して，式の計算をしたり，式の値を求めようとする。</p>	<p>多項式，単項式の計算の仕方を，1年で学習した式の計算の適用範囲を広げて考察する。</p> <p>多項式，単項式の計算の仕方を，数の計算と比較しながら考察する。</p>	<p>同類項をまとめることができる。</p> <p>多項式の加法や減法の計算ができる。</p> <p>単項式の乗法や除法の計算ができる。</p> <p>乗除の混じった式の計算ができる。</p> <p>式の中の2つの文字に数を代入して，式の値を求めることができる。</p> <p>式を簡単にしてから式の値を求めることができる。</p>	<p>単項式，多項式，定数項，次数，同類項の意味を知る。</p> <p>多項式の加法や減法の計算方法を知る。</p> <p>単項式の乗法や除法の計算方法を知る。</p> <p>乗除の混じった式の計算方法を知る。</p> <p>多項式と数との計算の方法を知る。</p> <p>式の値を求めるときに，式を簡単にしてから代入するとよい場合があることを知る。</p>
	2節 式の利用 1 数量の調べ方 2 数の性質の調べ方 3 等式の変形 4 比の性質	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字を使った式で数量を調べること</li> <li>・数の性質を文字を使って説明すること</li> <li>・ある文字について解くこと</li> <li>・比の値の意味 / 比の性質</li> </ul>	<p>文字式を使うと一般的に簡潔に表現できるよさを感じ得る。</p> <p>問題解決に，積極的に文字や文字式を活用しようとする。</p>	<p>帰納的に得た数量の間の関係や数の性質が成り立つことを，文字を使って論理的に考察する。</p> <p>目的に応じて等式を変形し，数量の関係を考察する。</p>	<p>数量の間の関係や数の性質が成り立つことを，文字式を使って説明することができる。</p> <p>目的に応じて等式を変形することができる。</p>	<p>文字を使うと，ことがらを簡単に表せることを理解する。</p> <p>あることがらが一般的に成り立つことを説明するのに，文字が使われることを理解する。</p> <p>等式の性質を使うと，等式を目的に応じて変形できることを知る。</p> <p>比の値の意味や比の性質を知る。</p>
	2章 連立方程式 1節 連立方程式	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2元1次方程式とその解の意味</li> <li>・連立方程式とその解の意</li> </ul>	<p>事象の中には，2つの変数を使わずには式で表せないものがあることに</p>	<p>1つの変数を消去して，既習の1元1次方程式に帰着させることにより，</p>	<p>2元1次方程式の解をいくつか求めることができる。</p> <p>2つの2元1次方程式を</p>	<p>2元1次方程式とその解の意味を知る。</p> <p>連立方程式，連立方程式の解，連立方程式を解く</p>

<p>6</p> <p>1 2元1次方程式とその解</p> <p>2 連立方程式とその解</p> <p>3 連立方程式の解き方と代入法</p> <p>4 加減法(1)</p> <p>5 加減法(2)</p> <p>6 かっこ, 小数, 分数をふくむ連立方程式</p>	<p>味</p> <p>・消去の意味/代入法による連立方程式の解き方</p> <p>・加減法による連立方程式の解き方</p> <p>・係数の絶対値が異なる連立方程式の解き方</p> <p>・かっこ, 小数, 分数をふくむ連立方程式の解き方</p>	<p>関心をもつ。</p> <p>代入法や加減法を使って形式的に処理していくよさを知り進んで連立方程式を解こうとする。</p> <p>見通しをもって, 連立方程式を工夫して解いていこうとする。</p>	<p>連立方程式を解く方法を考察する。</p> <p>連立方程式を解くのに, 代入法や加減法を用いて形式的に処理する。</p> <p>いろいろな連立方程式を解く際, 操作を簡単にする手順を考える。</p>	<p>両方とも成り立たせる文字の値の組を調べることができる。</p> <p>代入法を使って, 連立方程式を解くことができる。</p> <p>加減法を使って, 連立方程式を解くことができる。</p> <p>かっこのある連立方程式, 係数に小数や分数のある連立方程式を解くことができる。</p>	<p>この意味を理解する。</p> <p>文字を消去する方法には, 代入法と加減法があることを知る。</p> <p>連立方程式を解くには, 式の形の特徴をとらえ, 文字の消去しやすい方法を選べばよいことを知る。</p> <p>いろいろな連立方程式の解き方の手順を知る。</p> <p>連立方程式は一定の手順に従って解くことができることを知る。</p>
<p>2節 連立方程式の利用</p> <p>1 連立方程式を使った問題の解き方</p> <p>2 速さの問題と連立方程式</p> <p>3 割合の問題と連立方程式</p>	<p>3</p> <p>・連立方程式を使って問題を解決するための考え方と手順を理解すること</p> <p>・速さに関する問題を, 連立方程式をつくって解くこと</p> <p>・割合に関する問題を連立方程式をつくって解くこと</p>	<p>連立方程式を使うよさを知り, 問題解決場面で連立方程式を進んで活用しようとする。</p>	<p>題意を理解したり解法を発見するために, 線分図に表したり, 表を利用して考察する。</p> <p>方程式をつくるために, 数量を関連づけて考察する。</p>	<p>問題解決のため, 取り出した数量を関連づけて方程式で表すことができる。</p> <p>つくった連立方程式を解くことができる。</p> <p>解の吟味をすることができる</p>	<p>具体的な場面において, 連立方程式を使って問題を解決する考え方や, 手順を理解する。</p>
<p>7</p> <p>3章 1次関数</p> <p>1節 1次関数</p> <p>1 関数</p> <p>2 1次関数</p> <p>3 1次関数の値の変化のようす</p> <p>4 変化の割合</p>	<p>8</p> <p>・「yはxの関数である」ことの意味</p> <p>・1次関数の意味/比例と1次関数の関係</p> <p>・1次関数の値の変化のようす</p> <p>・変化の割合の意味</p>	<p>事象の中からともなう変わる数量を見出そうとする。</p> <p>比例をふくむ新しい関数があることに興味をもつ。</p> <p>1次関数の変化や対応の特徴を調べて調べようとする。</p> <p>1次関数の変化や対応の特徴を調べるのに, 進んで表やグラフ, 式で表そ</p>	<p>事象の中に, 2つの数量が関数関係になるものがあることに気付く。</p> <p>表やグラフ, 式で表すことによつて, 関数関係をとらえる。</p> <p>比例を, 1次関数の特別な場合であるととらえる。</p> <p>1次関数の特徴を变化の割合でとら</p>	<p><math>y = ax + b</math>で表される関数関係を, 表や式で表すことができる。</p> <p>変化の割合を求めることができる。</p> <p>1次関数のグラフを, 点をプロットしてかくことができる。</p> <p>1次関数のグラフを, その傾きや切片を利用してかくことができる。</p> <p>直線上にある2点をもと</p>	<p>事象の中の関数の関係にある数量に着目し, 「yはxの関数である」ことの意味を理解する。</p> <p>「yはxの1次関数である」ことの意味を理解する。</p> <p>変化の割合の意味を知る。</p> <p>1次関数では, 変化の割合は一定であることを理解する。</p> <p>1次関数のグラフの特徴について知る。</p>

9	<p>5 1次関数のグラフ(1)</p> <p>6 1次関数のグラフ(2)</p> <p>7 1次関数のグラフのかき方</p> <p>8 1次関数の式の求め方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次関数のグラフは直線になること/1次関数のグラフと比例のグラフとの関係/グラフの切片</li> <li>・グラフの直線の傾き/直線の式</li> <li>・1次関数のグラフのかき方</li> <li>・グラフから直線の式を求める方法/1次関数を表す式を求める方法</li> </ul>	うとす る。	える。	<p>ができる。</p> <p>ある関数が1次関数であるとき、いろいろな条件からその関数の式を求めることができる。</p> <p>表やグラフ、式から、変化や対応のようすを読み取ることができる。</p>	<p>1次関数<math>y = ax + b</math>のグラフ上で、<math>a</math>, <math>b</math>の値のもつ意味について理解する。</p> <p>1次関数のグラフはその傾きや切片などを利用してかけることを知る。</p> <p>直線の式の求め方を知る。</p> <p>ある関数が1次関数あるとき、いろいろな条件からその関数の式を求める方法を知る。</p>
	<p>2節 方程式とグラフ</p> <p>1 2元1次方程式のグラフ</p> <p>2 方程式のグラフのかき方</p> <p>3 連立方程式とグラフ</p>	<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2元1次方程式のグラフとその意味</li> <li>・2元1次方程式のグラフのかき方/x軸に平行になるグラフ</li> <li>・連立方程式をグラフを使って解くこと</li> </ul>	<p>2元1次方程式を1次関数の式としてみるよさを感じ、それらを進んで活用しようとする。</p>	<p>2元1次方程式を1次関数の式とみる。</p> <p>2つの2元1次方程式の交点の座標を、連立方程式の解とみる。</p>	<p>2元1次方程式を1次関数の式とみて、そのグラフをかくことができる。</p> <p><math>ax + by = c</math>で<math>a = 0</math>のグラフをかくことができる。</p> <p>2直線の交点の座標を、連立方程式を利用して求めることができる。</p> <p>グラフを利用して、連立方程式を解くことができる。</p>	<p>2元1次方程式を1次関数としてみることを理解する。</p> <p>2直線の交点の座標は、連立方程式の解に一致することを理解する。</p>
10	<p>3節 1次関数の路用</p> <p>1 1次関数とグラフ</p> <p>2 1次関数と実験</p> <p>3 1次関数と図形</p>	<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身のまわりにある問題を、1次関数を見いだして解くこと</li> <li>・実験結果から、数量の関係を調べること</li> <li>・1次関数を利用して、図形の問題を解くこと</li> </ul>	<p>具体的な問題解決場面で1次関数の考え方を利用して、進んで解決しようとする。</p>	<p>事象を1次関数としてとらえて考察する。</p>	<p>いろいろな事象を、1次関数の式やグラフに表して処理することができる。</p>	<p>身のまわりの事象の中には、1次関数を利用して解決できるものがあることを知る。</p> <p>事象の中には、近似的に1次関数で表されるものがあることを知る。</p> <p>図形の中に、1次関数を利用して解決できるものがあることを知る。</p>
	<p>4章 平行と合同</p>	<p>7</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内角の意味/多角形の内角の和を帰納的に導く</li> </ul>	<p>図形の性質を調べるのに、小学校での学習経験</p>	<p>n角形の内角の和を求めるのに、四</p>	<p>n角形の内角の和を求めること がで</p>	<p>多角形の内角、外角の意味を知り、多角形の角につ</p>

11	1 節 多角形と角					
	1 多角形の内角	・ 外角の意味 / 多角形の外角の和を, 多角形の内角の和から演繹的に導く	を生かそうとする。 「この図形にはいつもこういう性質がある」といえるのかどうかを進んで確かめようとする。	角形, 五角形, ... の場合というように, 帰納的に考察する。	きる。 n角形の外角の和を求めることができる。	いての性質を理解する。 ・ n角形の内角の和は, $180^\circ \times (n - 2)$ である。 ・ n角形の外角の和は $360^\circ$ である。 対頂角の意味と性質を知る。
	2 多角形の外角	・ 対頂角, 同位角, 錯角の意味 / 対頂角の性質	説明の際に現れる多様な考えに関心をもち, それらを積極的に評価しようとする。	観察, 操作や実験を通して, 平行線や角の性質を考察する。	対頂角や平行線の同位角, 錯角を使って, 角の大きさを求めることができる。	同位角, 錯角の意味を知る。 平行線の性質, 平行線であるための条件を理解する。
3 いろいろな角	・ 平行線の性質 / 平行線であるための条件					
4 平行線と角	・ 三角形の内角と外角についての性質を, 平行線の性質を使って調べる					
5 図形の性質の調べ方(1)	・ 図形の性質の調べ方には帰納的な方法と演繹的な方法があることを知る	図形の性質の調べ方には実験・実測による方法や証明による方法があることや, 証明による方法のよさに関心をもつ。	図形の性質が成り立つことを演繹的に考察する。 角についてのいくつかの性質を関連づけて体系的にとらえる。	三角形の角, 多角形の角についての性質が成り立つことを説明することができる。	三角形の角についての性質を理解する。 ・ 三角形の内角の和は $180^\circ$ である。 三角形の1つの外角は, それととなり合わない2つの内角の和に等しい。	
6 図形の性質の調べ方(2)						
2 節 図形の合同	5	・ 合同な図形の性質	2つの図形が合同であるための条件に関心をもち, それらを調べようとする。	2つの図形が合同であるための条件を調べ, 合同条件を考察する。	2つの図形が合同であることを, 記号=を使って表すことができる。	2つの図形が合同であることの意味を知る。
1 合同な図形		・ 多角形の合同条件				合同な図形の性質を理解する。
2 多角形の合同		・ 三角形の合同条件とその意味	図形の性質を証明するのに, 三角形の合同条件を使おうとする。	すでに正しいと認められたことがらをよりどころとして, すじ道立てて考える。	三角形の合同条件を使って, 合同な三角形を見出すことができる。	2つの多角形が合同であるための条件を理解する。
3 三角形の合同条件		・ 合同な三角形を見つけること	図形の性質が成り立つことを他者に伝えようとする。		合同な三角形を作図することができる。	三角形の合同条件とその使い方を理解する。
4 合同な三角形		・ 三角形の合同条件の使い方 / 証明の意味			図形の性質を, 三角形の合同条件を使って説明することができる。	証明の意味について知る。
5 三角形の合同条件の使い方						
3 節 作図と証明のしくみ	2	・ 作図が正しいことの証明 / 仮定, 結論の意味	証明の必要性に関心をもち, 既習事項をもとに進んで証明	仮定, 結論や証明のよりどころを明らかにして, 演繹	証明の過程を適切に表現することができる。	証明, 仮定, 結論の意味や証明のよりどころの役割を理
1 作図と証明						

12	2 証明のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・証明のしくみ / 証明のよりどころとなることから</li> </ul>	<p>明をしようとする。</p>	<p>的に考察して証明する。</p>	<p>仮定や結論を，記号を使って表すことができる。</p> <p>証明のよりどころを明らかにすることができる。</p>	<p>解する。</p> <p>証明のしくみを理解する。</p>
	<p>5章 三角形と四角形</p> <p>1節 三角形</p> <p>1 いろいろな三角形</p> <p>2 二等辺三角形の性質</p> <p>3 二等辺三角形であるための条件</p> <p>4 直角三角形の合同条件</p> <p>5 直角三角形の合同条件を使った証明</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定義の意味 / 二等辺三角形，正三角形の定義</li> <li>・二等辺三角形の性質 / 定理の意味</li> <li>・二等辺三角形であるための条件 / 命題の逆の意味</li> <li>・直角三角形の合同条件とその証明</li> <li>・直角三角形の合同条件の利用</li> </ul>	<p>図形の性質を見出すのに，実験・実測による方法を使おうとする。</p> <p>図形の性質を証明するのに，三角形の合同条件を使おうとする。</p> <p>図形の性質を調べるのに，進んで図をかこうとする。</p>	<p>実験・実測による方法で見出した図形の性質を演繹的に考察して証明する。</p> <p>二等辺三角形の性質を，その定義をもとにして演繹的に考察して証明する。</p> <p>命題の逆を調べて，逆が成り立つかどうかを考える。</p>	<p>二等辺三角形の性質をその定義をもとにして証明することができる。</p> <p>二等辺三角形であるための条件を証明することができる。</p> <p>命題の逆が成り立つかどうかを判断することができる。</p> <p>直角三角形の合同条件を証明することができる。</p> <p>直角三角形の合同条件を使って，合同な直角三角形を見出すことができる。</p> <p>直角三角形の合同条件を使って，図形の性質を証明することができる。</p>	<p>命題の逆の意味を理解し，命題の逆が成り立つとは限らないことを知る。</p> <p>直角三角形，斜辺などの定義を知る。</p> <p>鋭角や鈍角の定義を知る。</p> <p>直角三角形の合同条件の意味とその使い方を理解する。</p>
1	<p>2節 四角形</p> <p>1 平行四辺形</p> <p>2 平行四辺形の性質</p> <p>3 平行四辺形の性質の定理の逆</p> <p>4 平行四辺形であるための条件</p> <p>5 平行四辺形であるための条件の使い方</p> <p>6 いろいろな四角形</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平行四辺形の定義 / 平行四辺形の性質</li> <li>・平行四辺形の性質の定理の証明</li> <li>・平行四辺形の性質の定理の逆とその証明</li> <li>・平行四辺形であるための条件</li> <li>・平行四辺形の性質と条件の利用</li> <li>・ひし形，長方形，正方形と平行四</li> </ul>	<p>図形の性質を証明するのに，平行四辺形の性質や条件を使おうとする。</p> <p>いろいろな四角形について得られた性質を互いに関連付けてとらえようとする。</p> <p>証明の際に現れる多様な考えに関心をもち，さらに考えようとする。</p>	<p>平行四辺形の性質を，その定義をもとにして演繹的に考察して証明する。</p> <p>平行四辺形の性質の定理の逆を調べて，平行四辺形であるための条件を演繹的に考察して証明する。</p> <p>いろいろな四角形の性質を調べ，それらの間の関係を</p>	<p>平行四辺形の性質を，その定義をもとにして証明することができる。</p> <p>平行四辺形であるための条件を証明することができる。</p> <p>平行四辺形の性質の定理の逆を証明することができる。</p> <p>平行四辺形の性質と条件を使って，いろいろな四角形の性質を証明するこ</p>	<p>平行四辺形の定義を知る。</p> <p>平行四辺形の性質と条件を理解する。</p> <p>ひし形，長方形，正方形の定義を知る。</p> <p>ひし形，長方形，正方形は平行四辺形の特別なものであることを理解する。</p>

		辺形との関係		考察する。	とができる。	
2	6章 定理の発見と証明 1節 平行線と三角形 1 中点連結定理 2 中点連結定理の利用 3 平行線と面積	3 ・中点連結定理の発見とその証明 ----- ・中点連結定理を利用した図形の性質の証明 ----- ・面積が等しい三角形や四角形	図形の性質を発見することに関心をもつ。 図形の性質を証明するのに、補助線をひいて考えようとする。 図形の性質を証明するのに、得られた定理を進んで使おうとする。	平行四辺形の性質や条件をもとに考察して、中点連結定理を証明する。 中点連結定理を使って、図形の性質を演繹的に考察して証明する。 面積を変えないで図形を変形することを考える。	中点連結定理を証明することができる。 等積変形の作図ができる。 図形が等積変形できた理由を述べることができる。	中点連結定理を理解する。 等積変形について理解する。
	7章 確率 1節 確率 1 起こりやすさ 2 起こりやすさとその割合 3 確率	3 ・起こりやすさを調べる方法 ----- ・多数回試行におけるあることがらが現れる割合の傾向 ----- ・確率の意味 / 同様に確からしいことの意味	身のまわりの事象について、起こりやすさを考えようとする。 起こり得るすべての場合をあげ、同様に確からしいことを根拠に、進んで確率を求めようとする。	起こりやすさを数値化して考察する。 表やグラフを使って、起こりやすさの割合の変化が一定になることを考察する。 同様に確からしいかどうかを考察する。	起こりやすさの割合を求めることができる。 相対度数の大きさから、起こりやすさの割合を判断することができる。 実験の回数を多くしたときの割合の変化をグラフに表し、変化のようすを調べることができる。	起こりやすさの割合を表すのに、割合が使われることを知る。 実験や観察の回数を多くするに従って、割合が一定の値に近づくことを知る。 確率の意味を理解する。 「同様に確からしい」ことの意味を知る。
3	2節 確率の求め方 1 確率の求め方 2 確率の求め方のくふう 3 いろいろな確率	3 ・簡単な場合の確率の求め方 ----- ・樹形図などを使った確率の求め方 ----- ・表や図を使ったいろいろな確率の求め方	身のまわりの事象について、確率を進んで考えようとする。 実験や観察によらないで確率を求めようとする。 表や図をもとにできるだけ簡単に確率を求めようとする。	実験や観察によらない確率の求め方を考察する。 起こり得るすべての場合を分かりやすく表や樹形図に表して考察する。	簡単な事象について、確率を求めることができる。 起こり得る場合を、表や樹形図で表すことができる。 表や樹形図を使って、いろいろな確率を求めることができる。	確率の求め方を理解する。 起こり得る場合の調べ方を知る。